四月二十九日より
五月五日まで
学童写生大会開催
（詳細は三面に掲載）

名古屋 成田山

発行所　愛知県犬山市
成田山名古屋別院大聖寺
電話　0568（61）2583(代)
FAX　0568（62）7020
振替　00890-4-19213
毎月1回25日発行

創刊 昭和29年1月25日（671号）平成22年4月25日発行
http://www.inuyama-naritasan.or.jp/

【写真】満開の桜の下、初参り。
「憩いの場」にて

教苑

軌跡を写す ー貞奴と亀吉ー

私の曾祖父の母は濱田家亀吉という芸者でした。日本橋区の芳町で木遣りを歌わせたら日本一と呼ばれる侠な女性でした。貞照寺を開創した川上貞奴を幼少から育てその資質を見抜き、当時より芸事の師匠が数多く住まわれる芳町の土地柄と相まって其の芸妓は世界を魅了し日本の近代女優の元祖となりました。

日本の文化、芸能を海外に伝えたその行動は当時の世相から外交面でも多大な功績もあると考えられ彼女達のこの挑戦は、日本文化の発展に大きく貢献し、そのスピリットは現在国際舞台で活躍する日本人アーティストたちに受け継がれています。私は、彼女たちの人生のすべての軌跡を辿り、今も残る彼女に関連する建築物や美術品を紹介し、その貴重な歴史を現代に甦らせ、写真によって後世に伝えていきたいと考えています。亀吉と貞奴、この二人が残した功績を文化、教養などの面で再考しゆかりの地を訪ね本質的な一見目には見えない部分までを写真に残すというライフワークを続けていくうちに、二人の人物像もより濃く浮かんできます。

まず始めにそこにあるものが不動信仰です。言い伝えでは貞奴の不動信仰は亀吉や花街の影響だと聞いています。また九代目市川団十郎をはじめとする歌舞伎界との交流からも影響をされたそうです。

『養母病魔に臨み十二歳の貞女酷寒の深夜、水垢離を取り尊號を念珠して、其快癒を不動明王に縋るや霊験忽ち難病を治す。』

これは貞照寺の側面に埋め込まれてある彫刻壁画の説明の一部です。亀吉もこの一件以来貞奴をお不動様の申し子と考えるようになり、巡り合わせもお不動様のお導きだと親子の絆を深め、以来月詣でを欠かさぬようになったといいます。

芳町、現在の日本橋人形町に生まれ育った両親に育てられた私は、幼少の頃からどこかに貞奴の面影を感じながら育ってきました。そして、ある日、深夜のラジオから流れるオッペケペーを耳にしました。その強烈なメッセージは、瞬間的に私の脳裏に貞奴の存在を深く刻み込み、彼女の人生をたどるうちに、その存在が現在の日本人の生活にも大きな影響を与えていたことに気づきました。愛とロマンに満ち溢れた物語は、今を生きる私たちに、自由と平和の尊さと芸術の持つ素晴しい力を教えてくれます。

私の先祖であり、人生の先輩でもある、川上貞奴、浜田可免が残したメッセージは、時を超えてさらに大きな意味を持つようになりました。そんな思いをこの企画で表現していきたいと思います。

来年は貞奴の生誕百四十年、夫川上音二郎没後百年の節目の年にあたり貞照寺や全国で様々な企画が盛り上がってきています。私のライフワークも写真集や写真展となって皆様にご覧になっていただけるようにひとつの節目として来年へ向けてラストスパートに入ります。これまでも取材中に様々な方々にお世話になりこの場を借りてお礼を申し上げます。これからもどうぞ宜しくお願いいたします。

写真家　浜田　聡一郎

参詣のこころ

わが守護仏

衆議院議員　石田　芳弘

守護神という日本語がある。絶対的な心のより所であり、不安なときにすがる存在だ。

成田山は尾張・美濃一円の守護神である。宗教的に正確に言うと「守護仏」である。

私は犬山市長在任中、成田山こそわがふる里の守護仏であり、ランドマークであると思っていた。

高木照京参与に戴いた不動尊を部屋に置いて、手を合わせることから毎日の公務をスタートさせた。

成田山不動尊は迷いを断ち切り、困難に立ち向う時の勇気と闘志を与えてくれた。又、ある時は静かに内省することにより、人の善意と信頼に気付かされたりもした。

まさに、ふる里と私の守護仏であった。

現在、私は衆議院議員となり、仕事の場を国会議事堂に移した。政権交代の激動もあって、私の心は当初、希望と不安が交叉した。ふる里の山川草木を見失い、林立する巨大ビル群の中での生活に何となく落ち着きを失った。

私はふる里から成田山不動尊を運んできた。蝋燭に火をつけ、香をたき、水を捧げ、不動尊に手を合わせることから一日がスタートする。

「ノーマクサンマンダー・バーザラダン・センダーマーカロシャーダ・ソワタヤ・ウンタラタカンマン」。読経することで私は心の落ち着きを取り戻す。

新しい人生への挑戦が始まった。

成田山とのご仏縁

滋賀県長浜市　上杉　誠（せいがく）さん

今から十年以上前に、ふと思い立って成田山へお参りをするようになり、それ以降は毎月一度は必ずお参りするようにしています。

今でも、この日に成田山へ行こうと決めると前日から気持ちがそわそわしてしまうくらいに、お参りが楽しくて仕方がありません。成田山へ到着すると事前に用意したお供物、線香とローソクを手に本堂、弘法堂、遍路大師、三十六童子とくまなく廻ります。お参りを終えると、とてもすがすがしい気分になります。

【写真右】当山とのご仏縁を語られる上杉さん

私は若い頃に知人に勧められ、二十歳の時に京都聖護院で得度を受け「誠岳（せいがく）」という法名を授かりました。このご仏縁を境に神仏への信仰がますます深くなり、地元の滋賀県を始め奈良や京都の神社仏閣をくまなく参拝しました。

また二十歳から四十歳くらいまでは何十回と大峰山の入峰行を実践し、「大先達」という位も頂戴しました。当時は、今のように吉野までの道のりが整備されておらず、山伏姿で電車に乗って恥ずかしい思いをしたりしたこともいい思い出になっています。

これまでたくさんの神社仏閣を参拝しましたが、成田山は私にとって一番大好きなお寺です。お不動さまを信仰するようになってから何度も助けていただいたことも理由の一つです。

最近は体調に気を遣いながら生活していますが、十年近く前はいくつか持病があって、その中でも心臓の発作がひどく、仕事中に気を失って倒れてしまうこともありました。それでも今日生かせていただくことは成田山のお不動さまのご加護と信じています。また、長浜市内で経営する飲食店が順調に商いできることも、大変有難いと思っています。

また、私の弟が元関脇の「蔵間」で、名古屋場所では成田山に大変お世話になったことも理由の一つです。

弟が現役を務めた二十年間は毎日朝五時に起きて名古屋場所に通って応援していました。また名古屋に限らず大阪場所も毎日、地方巡業があると必ず弟から声が掛かり、遠いところでは郡上八幡、掛川、岡山県あたりまで足を伸ばしたこともあります。

角界を引退してからも、タレント活動をしてテレビやラジオに精力的に仕事をこなしていました。

そんな弟が、今から十五年前に四十二歳の若さにして急性白血病でなくなりました。

早いうちに病のことは分かりながらも、事実を知るのは数人の身内と事務所の社長のみで、あとは「風邪」と公表し、ひたすら隠していました。

まわりの人々に隠し通す辛さ以上に、日ごとに弟が弱っていく姿を見るのが兄としてすごく辛かったです。

本当ならば亡くなった日の二週間後には骨髄移植手術をする予定も立っていましたし、仕事を減らしてしっかりと療養すれば助かったかもしれません。それだけに、今でも残念な思いでいっぱいです。

弟が本来生きるはずだった寿命を受け継いで今の私があるんだと思い、弟が眠る千葉県市川市のお墓に向って、毎日手を合わせ感謝しながら暮らしています。

これからも元気な限りお参りを続けていきたいと思います。

釈尊ご生誕をお祝いする
花まつり厳修

仏教を開かれた釈尊（お釈迦さま）のご生誕を祝し、そのご遺徳に報恩感謝の誠を捧げる「花まつり」を四月八日に聖蘭堂にて厳修しました。

釈尊ご生誕の際に、天上の神々が花を咲きほこらせ甘露の雨を降り注いで祝ったとの仏伝に倣い、花々で飾られた花御堂の誕生仏に甘茶を灌ぎ、ご生誕をお祝いしました。

当日は晴天に恵まれたうえに境内の桜も満開で花見で訪れた方や、ご本尊さまへ入園のご報告のためお参りされたご家族など大勢の参拝者で賑わいました。【写真】

総受付にて
マクラメ展

索の会岐北月参講支部員、木澤和子さんが製作されたマクラメを、総受付にて展示しております。【写真】

マクラメとは、糸や紐を編んで模様を作った編み物です。国宝犬山城をイメージした作品ほか全十三点が、四月末まで展示されています。

裏千家淡交会
さつき茶会

当山三大茶会、『さつき茶会』が五月二日に、裏千家淡交会愛知第一支部の杉本宗美様席主のもと、若水庵にて開催されます。

犬山神仏霊場会
犬山寺社めぐり

犬山市観光協会主催「犬山寺社めぐり（当山は第一番札所）」がただ今実施され、連日お参りを頂いております。五月三十一日まで。

密厳流遍照講支部設立
一緒にご詠歌をお唱えしましょう！

当山では、この四月より密厳流遍照講支部を設立する運びとなりました。

つきましては、これから練習を始めてまいりたいと思います。初心者の方、大歓迎ですのでお気軽にご参加下さい。

最初の練習会は、五月十五日（土）午後一時より、信徒会館三階「奥殿」にて行います。

※お問い合わせ先　ご詠歌担当
法教部（ほうきょうぶ）　大藪、服部まで

第五十五回 学童写生大会開催

◆とき　四月二十九日より
五月五日まで開催
（提出締切は五日午後五時まで）

◆ところ　当山境内及び成田山貞照寺

◆参加資格　幼児から高校生まで。尚、作品提出時に参加賞（お菓子）を差し上げます。

◆参加料　無料

◆画用紙　受付で差し上げます（絵の具やクレパス、画板などは持参してください）

◆成績発表　当紙「名古屋成田山」五月号紙上及び、出品団体などへの名簿送付

◆表彰式　六月六日（日）午前十時
信徒会館一階ホール

たくさんのご参加をお待ち申し上げております！

【写真】昨年の大会で最優秀賞「成田山明王賞」を受賞した、足立敬允君の作品。

巡拝紀行文

第二回東海三十六不動尊霊場巡拝を終えて

信徒部　上林　庸介

この度、私は担当を務める土田成田講支部員、貞照寺檀信徒の方々と共に三月九日より、第二回「東海三十六不動尊霊場巡拝旅行」を実践しました。

今回も成田山大聖寺の参拝を起点に、名古屋市内と三河地方の寺院併せて、十四ヶ寺を巡拝しました。

初日は生憎の雨に見まわましたが、支部員の方々の熱心なお参りとお祈りの甲斐もあって二日目は好天に恵まれました。

私ごとですが、ここ二、三年の中で立て続けに起こる自分への出来事に思い悩んでおりました。今、思えばこの時期に巡拝の旅に同行したことにより、何かの答えが見つかるのでは、という思いが芽生えていたのかもしれません。

各札所を巡拝していく中で、「私たち人間は迷う存在であり、悩まなければ生きられない。」という言葉が目に止まりました。詳しく突き詰めてみると、人は悩むことを手がかりに悩みを乗り越え、新しい自分に辿り着くことが出来る…といったものでした。

時は等しく流れて行き、今、現在過ごしている時間もわずか八秒間で過去のものとなると言われています。

人それぞれ悩みごとが多かれ少なかれ、立ち止まることは決して悪いことではないこと、新しく訪れる時間と共にまた歩き出せば悩みは必ず乗り越えられる、と先人の教えを学びました。

その教えはこの巡拝の姿にも現れているのではないでしょうか。各札所を訪ねてご本尊とご仏縁を結び、また歩き出すことによって私なりの霊場巡りの意味を見つけました。

また、普段開堂されていない御堂の参拝や、遍照院の戒壇巡り、西浦不動での千仏洞巡りなど人生初めてとなる貴重な体験もさせていただきました。

第二回の霊場巡りは私にとっても大変実りのある旅となりました。この余韻が冷めないうちに、満願にあたる第三回の巡拝の準備を進めたいと思います。

各ご寺院のご住職を始め、関係者の皆様へ心より御礼申し上げます。

【写真】霊場第十八番札所、遍照院にて法楽をお唱えされる皆様

※五月九日（開白）

開創二十周年記念大護摩供

お砂踏み開白法要

午前十一時より本堂

正午より当山信徒会館二階

お砂踏み巡拝特設会場

※期間中は、お砂踏み行場をご自由に巡拝でき、参拝されたご信徒には**『満願の証』**が授与されます。また**『写経会』**も併催いたします。

索の會だより

第四十回 索の会支部合同役員会開催

第四十回索の会支部合同役員会は、三月二十八日（日）成田山信徒会館にて、二十四支部の代表者八十名と四日市市で支部結成準備中の代表者を招き開催されました。

はじめに、成田山より宮本主監の挨拶を頂き、事務局からは昨年度の活動に関しての御礼が述べられ、司会進行のもと左記の議題について報告並びに審議が行われました。

一、各支部の現状及び、会員の現況

二、難病者激励募金贈呈について

三、平成二十二年度実践計画について

◆六月十五日開催の「名鉄犬山ホテルランチバイキングと昼鵜飼」

◆九月の成田山主催による「成田山川越別院参拝と伊香保温泉の旅」

◆成田山開創六十周年記念事業「明王門屋根改修銅板葺き替え」への協力のお願い

四、その他

◆東海三十六不動尊霊場開創二十周年記念行事

また、事務局より新年度も新入会員募集キャンペーンとして、新入会の方に『種字入りストラップ』を進呈する報告がありました。

尚、最後に各議題の質問と要望を受付けたあと、各支部代表者と成田山詰合員による懇親会が催され、和やかなうちに終了しました。

今枝記

役員会開催
―名古屋成田講支部―

名古屋成田講支部（支部長＝増田金次郎氏）では、三月二十一日午前十一時の大護摩供参拝後、信徒会館にて役員会を開催しました。

役員会は、増田支部長の挨拶で始まり岡部評議員の司会進行で議事を審議しました。

平成二十二年度名古屋成田講支部総会の開催について、評議員の推薦について、東海三十六不動尊霊場開創二十周年記念お砂踏み巡拝について等の説明、審議されました。

今枝記

成田山索の会特別企画第2弾

犬山温泉「白帝の湯」入浴つき

名鉄犬山ホテルランチバイキングと昼鵜飼

成田山での参拝の後、ランチバイキングと昼鵜飼で楽しいひと時を過ごしませんか

期　日　平成22年6月15日（火）
鵜飼中止の場合6月28日（月）に延期

会　費　6,000円　お支払は当日になります
（祈祷料・ランチバイキング・鵜飼乗船料・温泉入浴料含む）

集合時間　犬山成田山信徒会館　10時30分集合
（犬山遊園駅より送迎バスあります　送迎バス発着時間10時20分）

行　程

10：30　11：00　11：45　13：00
犬山成田山―大護摩供参拝―犬山ホテルランチバイキング―昼鵜飼―

13：30　14：30
白帝の湯入浴（犬山ホテル）―解散（成田山、犬山遊園駅までバスあり）

申し込み開始　４月１日（木）より
申込締切り　５月31日（月）
募集人数　60名（限定）
（申し込みが定員に達し次第募集を打ち切らせていただきます）

お問い合わせ先
犬山成田山信徒課
0568-61-2583

銅板志納者芳名

（順不同敬称略）

一月

名古屋市　横田二美夫
〃　築城恵美子
〃　柴山幸也
〃　米澤弘和
〃　大西幸子
〃　神田美千子
〃　安藤峰夫
〃　安藤征治
〃　吉田愛子
〃　熊﨑藤雄
〃　福島幸男
〃　三宅浩
〃　土屋君子
〃　木村鍾治
〃　木村恵子
〃　木村由希子
〃　㈱カンキョウ・テック
春日井市　松居正房
〃　冨田勝己
〃　林喜佐雄
〃　林眞義
〃　小川有二
〃　梶田佳裕
〃　梶田英里

岐阜市　津田芳朗
〃　中島範子
〃　山室圭子
〃　髙田津多子
〃　髙田義弘
〃　玉永正
〃　玉永美千子
〃　後藤ゆかり
各務原市　両美物流㈱
〃　嶋守一
〃　清水千加
〃　水野敏彦
〃　福井寿子
〃　福浦利哉
〃　福浦清子
〃　黒田さつき
可児市　勝野正春
〃　北村博
〃　近藤喜世志
〃　井戸田昇三
一宮市　藤井義弘
〃　岩田光永
〃　岩田昇
〃　鬼頭徹
〃　鬼頭富美子
小牧市　中西信一
〃　山岸ツヨ子
〃　森本文子

小牧市　落合逸子
豊田市　総合探偵社
加藤探偵調査事務所　和田コイチ
〃　佐藤修二
美濃加茂市三品薫
〃　三品嘉寿子
〃　野村寿彦
西春日井郡柴田章男
〃　日澤昭人
関市　山口鍍金工業㈱
〃　㈱キョウワ
〃　白田雄一
大垣市　米山功起
〃　渡部禎夫
四日市市　鈴鹿グループ
〃　福島みやこ
江南市　加藤ツヤコ
〃　加藤みのり
桑名市　大野千代
〃　円応教明正教会
碧南市　堀江正明
〃　生田康幸
清須市　佐久間やす
愛西市　古泉忠
〃　髙橋薫
〃　神尾隆憲
〃　村瀬喜美代
滋賀県　髙橋康祐
〃　髙橋俊子
知立市　松下継見
加茂郡　古井戸始
多気郡　針齊

岡崎市　深見俊一
三重郡　管井正男
土岐市　川上昌也
可児郡　磯部三郎
額田郡　左右田一夫
神奈川県　大竹孝宣

二月

名古屋市　樽本樹邨
〃　増尾とみ子
〃　市川実
〃　市川すみ子
〃　大島良子
〃　大島秀一
〃　栗田昇治
〃　野村二三子
〃　加藤美智子
〃　藤田智也
〃　荒川紀代司
鈴鹿市　杉浦建市
〃　杉浦叡子
〃　矢田篤擴
〃　矢田房子
〃　黒田章範
〃　黒田弘子
〃　富美子
岡崎市　岡田健佑
〃　岡田文一
〃　岡田雅子
小牧市　㈱エム・エフ・エス　穂積英一

小牧市　ニダイキ㈱
〃　山田大機
〃　㈲セイシン教育センター
〃　青山二郎
青山明美
山口金一
安井正志
村松昭夫
石黒喜代子
石黒百合惠
〃　大竹貴久
〃　大竹ひな子
〃　大竹英介
〃　加藤利充
〃　加藤恵美
岩倉市　南野見千代
〃　野崎忠義
〃　野崎晃徳
㈱ソノケミカル
多治見市　伊藤久代
〃　福井寿子
春日井市　青木大佑
〃　鵜飼泰舟
〃　武藤路子
瑞浪市　肥田洋吉
〃　肥田哲子
〃　肥田伊織
〃　矢田良蔵
四日市市　矢田あつ子
〃　大西肖平

蒲郡市　民男
〃　八田高栄
〃　大脇英一
〃　大脇すみ子
知多郡　左右田一絵
〃　長坂友彦
安八郡　三英電子㈱
〃　種田英樹
豊明市　野村禎治
〃　野村賢二
刈谷市　加藤麻里子
〃　加藤弥純門
瑞浪市　柴田蘭
土岐市　角尾道子
大垣市　山田康紀
江南市　樋口高清
犬山市　長瀬鋭枝
羽島郡　岩田弘毅
松阪市　木川真一
岐阜市　砺智広
中津川市　恵北ビル管理㈱
〃　三井正巳
員弁郡　岩田寅男
山県市　日比野聡美
豊橋市　大林千恵子
津島市　勝又郁子
稲沢市　㈲インテリアファクトリー
〃　櫻井正人
美濃市　小林幸雄
滋賀県　西けいこ
東京都　杉本吉信

三月分以下、次号に掲載

貞照寺だより

花まつり厳修

成田山貞照寺では、仏教を開かれた釈尊（お釈迦さま）のご生誕を祝し、「花まつり」を四月八日に本堂にて厳修しました。

貞照寺が在る宝積寺町においても、地元ぐるみで花まつりの祭事が行われています。

昔からの慣習で作られていた地区の甘茶と、貞照寺の甘茶の味が大変違っていることに気づき、今年は多くの方々が、味比べに訪れ大評判。来年の参考にしたいと、役員さんが作り方をメモして行きました。

また、花御堂を飾る色鮮やかな花々は、近隣の方にご奉納いただき、春の花々に囲まれ誕生仏も嬉しそうに見えました。

さくら満開 お花見風景

貞照寺では四月上旬の日曜日、境内に咲きほこる満開のさくらの下で、花見を楽しむ参詣者で賑わいました。

地元少年野球チームを始め、毎朝お参りいただくご近所グループ、バドミントンサークルや幼稚園のお母さん友達等がお子さま連れで訪れ、桜を満喫されました。

少年野球のＹ君兄弟は、甲子園を目指し雨の日は本堂下でよく素振りをしています。甲子園球児誕生が期待されます。

貞照寺の寺宝

第一回　川上貞奴、音二郎のブロンズ胸像

今月号より、貞照寺の縁起館に収蔵されている川上貞奴女史にまつわる寺宝を紹介いたします。

この作品はフランス人作家、ベルンスタインにより一九〇一年に作られたものです。

貞奴（左）が三十歳、音二郎が三十七歳のときの姿です。共に名前が刻まれており、本人の筆跡に近いことが確認されています。

諸芸上達祈願のご案内

日本の女優の祖と言われる「マダム貞奴」。

川上貞奴女史が、自ら信仰する不動明王をお祀りするために建立したお寺が成田山貞照寺です。以来、「マダム貞奴」にあやかり、諸芸上達、芸事成就を願って大勢の方が訪れます。

貞照寺では諸芸上達・芸事成就祈願のお護摩ご祈祷を毎日厳修しております。

ご祈祷料は、一金三千五百円以上です。その他、諸芸上達御守護札（一金五百円）もございます。【写真左】

奉納者芳名

（順不同敬称略）

各務原市　中野　隆
〃　清水　肇
〃　麻生　昌夫
〃　岡崎　明
〃　山田　美代子

以下のご芳名は次号に掲載

貞照寺 五月の予定

学童写生大会

本年も、学童写生大会を開催します。

たくさんのご参加をお待ち申し上げております。

四月二十九日より
五月五日まで開催
（詳細は三面）

写経会

五月二十三日
（第四日曜日）

登録有形文化財
諸芸上達・芸能の寺
成田山貞照寺
〒509-0123　各務原市鵜沼宝積寺町５－189
電話（058）384－0202　FAX（058）213－6038

お護摩ご祈祷 ご案内

ご祈祷厳修時間
午前七時
九時
十一時
午後一時
三時

お護摩ご祈祷料
一金　五万円以上
一金　三万円以上
一金　二万円以上
一金　一万円以上
一金　五千円以上
一金　三千五百円以上

交通安全自動車ご祈祷 ご案内

ご祈祷厳修時間
午前七時から
午後七時まで
三十分毎に厳修いたします

交通安全自動車ご祈祷料
一金　二万円以上
一金　一万円以上
一金　五千円以上
一金　三千五百円以上

三月の大護摩供 修行者芳名

（順不同敬称略）

名古屋市　港トラック成田講
〃　山崎製パン㈱名古屋工場
〃　㈱宇徳組
〃　品質安全衛生委員会
〃　㈱アカデミー商会
〃　衣川　典孝
〃　三谷　安浩
〃　高井　公子
瑞穂市　丸門建設㈱
羽島市　丸門運輸㈱
〃　㈲丸門
東近江市　滋賀丸門運輸㈱
可児市　岩﨑　郁夫
瀬戸市　㈱イトー急行
愛知郡　岸　由香
犬山市　㈱山口工業 新入社員一同
豊田市　石橋　博文
丹羽郡　㈱東海理化 生産技術センター
埼玉県　市川　貴大

三月の登山講社

名古屋市　みなと成田講
〃　名古屋成田講
〃　成田山港名古屋講
〃　成田山金山橋講
〃　港トラック成田講
山県市　成田山岐北月参講
◆成田山索の会
名古屋成田講支部
港トラック支部
みなと成田講支部
港名古屋講支部
岐北月参講支部
金山橋講支部
聖道支部

虫封じ祈願会

お子さまの夜泣き、疳の虫が起きないよう、また健やかな成長を祈願する『虫封じ』祈願会を六月四日午後二時より厳修いたします。

一、期　日
六月四日（金曜日）
午後二時より厳修

一、ご祈祷料
一金　一千円以上

紙上書道展

中二　足立　梨紗
【評】すっきりと気持ちいい作品です。

中二　足立　麻緒
【評】のびのびと書けています。

小三　足立　葵
【評】元気よく書けました。

編集室より

今月上旬は境内の桜が満開で大勢の参拝を頂き、賑やかな春の成田山となりました。

当紙一面の写真は、初参りで参拝された高川家皆様にご協力を頂き、「憩いの場」にて撮影しました。

「桜の木の下で、生まれたばかりの孫と家族揃って写真を撮っていただき、嬉しく思います。良い記念になりました。来年の年賀状に使わせていただきます（高川様談）」。

お不動さまのご加護のもと、お子さまの健やかな成長をお祈り申し上げます。　樽谷記